

来週の「売り物」記事はこれ



2013年10月18日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

泣き虫監督のチーム再建

JX—ENEOS 社会人野球「最強軍団」の秘密

朝刊 20日 (日)



7月の都市対抗で、大会史上51年ぶりの連覇を果たした横浜市・JX—ENEOS。昨秋の日本選手権でも優勝しており、今秋には未だの2年連続しての社会人2大会制覇を目指します。逸材がそろっているわけではありません。長い低迷を経て苦しんできました。そんなチームがどうして勝ち続けられてきたのでしょうか。秘密は大久保秀昭監督＝写真＝にあるようです。今年の都市対抗野球決勝戦では人目もはばからず男泣きしました。人呼んで「泣き虫監督」。六大学野球では慶応大の主将として春秋の連覇に尽くし将来を嘱望されながら、プロ野球・近鉄では芽が出ず辛酸をなめました。挫折の経験があればこそ見えるものがあるといいます。妻でタレントの大東めぐみさんは「一度ユニホームを脱いだ経験があればこそ、ユニホームを着て野球ができる幸せに気づいている」と話します。大久保監督を軸に、JX—ENEOSの強さの源泉に迫ります。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

保阪正康 VS ベテラン宮内庁記者

「美智子さま、雅子さま、紀子さま」

夕刊 2面特集ワイド 25日 (金)



79歳になられた美智子さま＝写真＝はご公務に励み過ぎではないか。今秋、雅子さまの体調が回復されているというのが本当にそうなのか。紀子さまは悠仁さまをどのように育てようとしているのか——皇室の3人の女性は週刊誌の定番テーマになっているほど関心が高い。3人の有りようは皇室の今とこれからを映し出しているのではないか。ノンフィクション作家で天皇制に関する著書が多い保阪正康さんと長年皇室取材している大久保和夫・毎日新聞宮内庁担当記者が語り合う。

やなせたかしさんの言葉

くらしナビ面 22日 (火)

13日に94歳で亡くなった絵本作家のやなせたかしさん＝写真＝。くらしナビ面では昨年夏、やなせさんのインタビュー記事を掲載しました。「幼児は一番『大人』」「幼児用だからと言って、作品のグレードは落とさない」「自分が作る歌には、全部『生きる』っていう思いが入っている」——。赤ちゃんからお年寄りまで、年代を問わず愛される「アンパンマン」の魅力とヒミツなどについて、やなせさんが熱く語っています。前回の記事で紹介できなかった「言葉」をお届けします。



和梨スイーツが人気

くらしナビ面 24 日 (木)



梨のおいしい季節になりました。そのまま食べても、もちろんおいしいですが、最近「梨味」のジュースやアイスなどが相次いで発売され、人気を呼んでいます。丸くてシャリシャリした食感の和梨は、これまで加工に向かないとされてきましたが、加工技術の向上で「梨らしさ」を損なわず商品化することが可能になりました。「和梨スイーツ」人気の背景を探りました。

防音リフォームするには

くらしナビ面 27 日 (日)

大好きな音楽を、気兼ねなく大音量で聴きたい——。こんな願いをかなえるため、自宅の防音工事をする人が増えています。退職後、時間にゆとりができ、念願のオーディオ機器を買いそろえたシニア層などの需要が多いようで、住宅メーカーも「防音リフォーム」に力を入れ始めています。価格や工法など、気になるリフォームについて調べました。



生きる物語 「笑顔で満たしたい」

朝刊新総合面 22 日 (火) から



20代で膠原病の一種である「全身性エリテマトーデス」を発症した三原睦子さん＝佐賀市＝は、同様の難病を抱える患者のために九州では初となる佐賀県難病相談・支援センターを設立、所長として活躍する。自らも体調の変化に苦しみながら、センターに寄せられる年約5000件の相談に対応しつつ、設立直後から難病患者によるダンスチーム「きらめきダンス」を結成するなど、「ほっとできて、笑って過ごせる」センター作りを目指す。